

市町村名		北谷町					
平成28年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	北谷町文化発信拠点整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア		
担当部課名	教育委員会 社会教育課		事業実施(予定)年度	平成24~30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立	
事業内容	米軍基地の返還に伴い発見された国指定史跡である「伊礼原遺跡」を観光資源として公園整備を行う。また、隣接地に伊礼原遺跡の出土品等を含む町内に点在する文化財の公開活用を行うため、町立博物館を建設する。平成28年度は、伊礼原遺跡公園内に設置する復元住居の基本設計(その2)並びに町立博物館建築実施設計及び展示実施設計を策定する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	28年度(繰越)	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	32,053	66,272	4,104	—	
		(b) 予算現額	28,220	55,297	83,376	—	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 3,833	▲ 10,975	79,272	—	
		(d) 繰越額	—	—	—	79,488	
		A. 計(b+d)	28,220	55,297	83,376	79,488	
	B. 執行済額		28,220	55,296	3,888	75,060	
	うち交付金充当額		22,576	44,200	3,000	60,000	
	次年度繰越額		0	0	79,488	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	4.7%	94.4%	
予算の状況の説明		・博物館建築・展示実施設計業務を年度途中で追加したため、予算79,488千円を増額し、その後伊礼原遺跡復元住居基本設計(その2)入札差金216千円を減額した。 ・博物館建築・展示実施設計については、今後の管理運営計画を踏まえた実施設計が求められるが、管理運営計画策定に係る調整協議に日数を要したため次年度に繰越し完了した。不用額4,428千円については、入札残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	伊礼原遺跡公園内に設置する復元住居の基本設計(その2)を策定する	目標	(基本計画(その2)策定)	(基本設計策定)	(基本設計(その2)策定)	(      )	
		実績	基本計画(その2)策定完了	基本設計策定完了	基本設計(その2)策定完了		
	町立博物館建築に伴う実施設計を策定する 町立博物館展示に伴う実施設計を策定する	目標	(基本計画策定)	(基本設計策定)	(実施設計策定)	(      )	
実績		基本計画策定完了	基本設計策定完了	実施設計策定完了			
達成状況説明	・伊礼原遺跡復元住居基本設計(その2)は、当該整備委員会との調査研究を反映させながら策定を完了した。 ・町立博物館建築実施設計及び展示実施設計の策定を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	伊礼原遺跡復元住居基本設計(その2)の完了	目標	(      )	(基本計画(その2)策定)	(基本設計策定)	(基本設計(その2)策定)	(      )
		実績		基本計画(その2)策定完了	基本設計策定完了	基本設計(その2)策定完了	
	町立博物館建築・展示実施設計の完了	目標	(      )	(基本計画策定)	(基本設計策定)	(実施設計策定)	(      )
		実績		基本計画策定完了	基本設計策定完了	実施設計策定完了	
進捗状況説明	・伊礼原遺跡復元住居基本設計(その2)を完了したことで、今後の文化庁補助による伊礼原遺跡公園整備に係る実施設計を行う準備を整えた。 ・町立博物館管理運営計画及び建築等基本設計を踏まえた実施設計を完了し、建設工事発注準備を整えた。 ・博物館管理運営計画及び基本計画等を踏まえ、より来館者の動線や博物館の機能性に配慮するとともに維持管理費を抑制する実施設計策定に努めた。来館者及び管理運営に配慮した設計を行ったことにより、より利活用し易い施設配置が図られたことで利用者等の来館意欲向上につながることを期待される。						

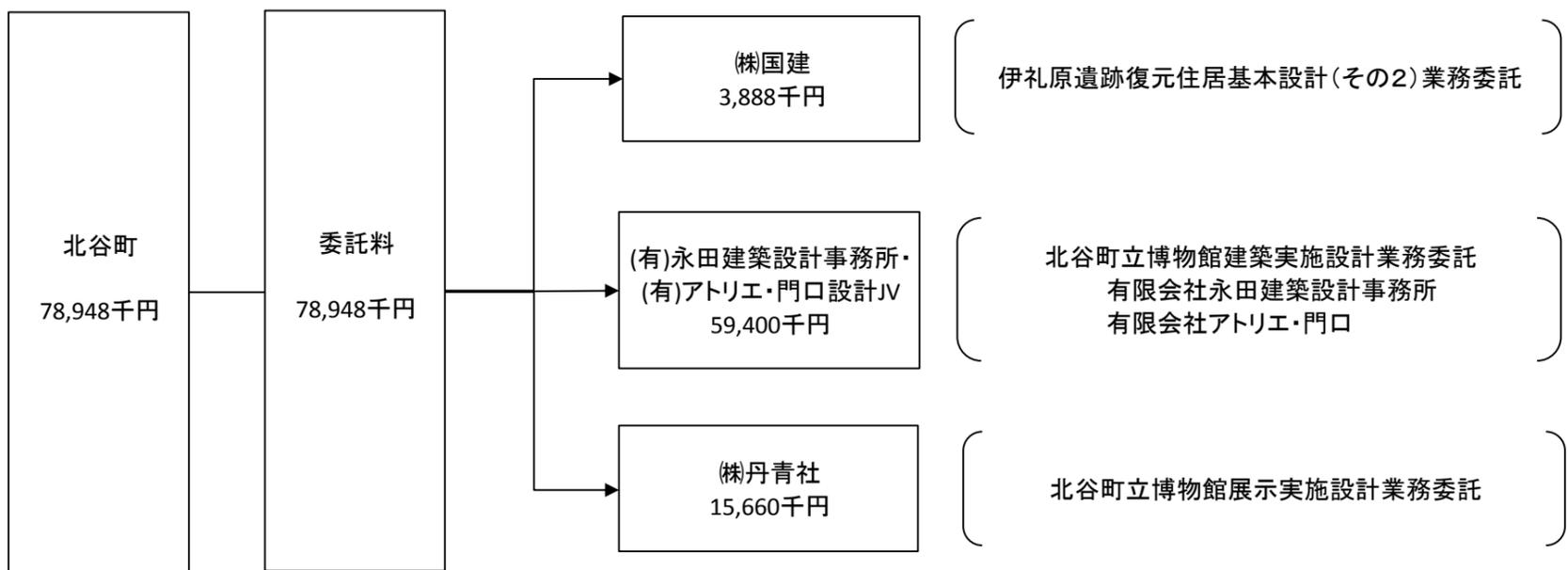
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊礼原遺跡整備は、今後文化庁補助による整備が行える準備が整った。</li> <li>博物館の安定的な管理運営に関し、運営形態等について関係機関や地域観光産業関連事業者等との連携するための意見交換が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊礼原遺跡整備は、今後文化庁補助にて整備が実施できることとなったことから所期の目的は達成されたと考えられる。</li> <li>持続発展可能な博物館運営に関する関係事業者等との意見交換を開館スケジュールを見据えながら取り組む必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- 伊礼原遺跡整備は、平成28年度より文化庁補助にて敷地造成工事を実施しており、今後も予算の範囲内において継続して公園整備を実施する。
- 博物館整備は、平成30年度から建設工事を実施するため、建設及び運営に係る内部調整や関係機関・団体との連携推進に取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
78,948	78,948	63,000	15,948	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者の選定は、指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、予定した事業内容を全て実施した予算執行率が約94.7%であり、適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものか等については、額の確定時において検査、確認しており、適正であったと考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	